

「みえ平和行進ニュース」No. 5

09年原水爆禁止世界大会三重県実行委員会

〒514-0016 津市乙部14-18

TEL/FAX 059-228-5854

国民平和大行進

14日、3コースが津市で合流、お城西公園で県生協連、 県原爆被災者の会と共催の集会後、県庁まで「ハート平和行進」

南からのコースは、14日8時30分、松阪駅前を出発し、松阪市教育会館前で市長、市議長の挨拶を受けたあと、三雲町まで行進し、昼食休憩後、津市へ移動。えんま堂で白山・久居コースと合流。津生協病院を經てお城西公園まで行進。生協病院ではお茶などの接待を受けました。同公園で県生協連、県原爆被災者の会、県原水爆禁止世界大会実行委員会の三者共催の集会をおこなった後、県庁前まで「ハート平和行進」、水産会館で県への三者共催の要請集会を開きました。お城西公園での集会参加者は約200人、県水産会館では約150人でした。

北勢コースは、14日鈴鹿から津市へ

北勢からのコースは14日、鈴鹿市体育館前から出発し、白子公民館、鼓ヶ浦公民館を經て、河芸町千里が丘で募金活動などをした後、河芸町総合支所で昼食休憩。車で三重県自治会館まで移動し、そこからお城西公園まで行進し、他の2コースと合流しました。

水産会館で県に要請したあと採択した集会「アピール」

私たち、県内の生活協同組合連合会、原爆被災者の会、そして原水協が中心となった原水爆禁止世界大会三重県実行委員会の三団体は、核兵器も戦争もない、平和で安心して暮らせる世の中を願って、きょう、津市内で平和大行進と県知事への要請決起集会を成功させました。

64年前の1945年8月、広島と長崎に落とされた2発の原子爆弾によって、その年のうちに21万人余の生命が奪われ、生き残った被爆者も放射能の後遺症に苦しみ続けてきました。このような生き地獄は、地球上のどの地でもくり返してはなりません。残念ながら、世界には今なお2万6千発の核弾頭が存在し、このうちの何千発かはいつでもボタンひとつで発射できる状況にあります。

このような人類を破滅におとし入れる危機に対し、「核兵器なくせ」の声は世界の主流となってきました。

最近、核兵器を持つ国々の首脳の中からも核兵器の廃絶をめざす発言が挙がっています。4

月には、アメリカのオバマ大統領が「核兵器を使用した唯一の核保有国として」「行動する道義的責任がある」として、「核兵器のない世界」を呼びかけました。

私たちは、これらの動きをいつそうつよめて、核兵器の全面禁止をいよいよ実現するのを迎えていると考えます。来年5月に迫った核不拡散条約の再検討会議は、この課題にこたえる重要な機会となるでしょう。

私たちは、子どもや孫たちに、核兵器も戦争もない世の中を引き継ぐ誇りを高く掲げ、草の根からの世論と運動を飛躍させて、新しい歴史を切りひらくため、ひろく県民の皆さんとともに全力を挙げてとりくむことを、ここに改めて誓います。

右、宣言します。

2009年6月14日

三重県生活協同組合連合会

三重県原爆被災者の会

原水爆禁止世界大会三重県実行委員会